

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成22年7月29日(2010.7.29)

【公開番号】特開2009-28227(P2009-28227A)

【公開日】平成21年2月12日(2009.2.12)

【年通号数】公開・登録公報2009-006

【出願番号】特願2007-194609(P2007-194609)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 5 Z

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成22年6月10日(2010.6.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技盤の前面に形成され、発射手段から発射された遊技球が打ち込まれる遊技領域と、
該遊技領域に設けられた複数種類の入賞口と、

該複数種類の入賞口のうち第 1 始動入賞口に遊技球が入球した後、第 1 開始条件が成立したことに基づいて遊技者に所定の利益を付与する利益付与状態に制御するか否かを判定する第 1 利益付与判定手段と、

前記複数種類の入賞口のうち第 2 始動入賞口に遊技球が入球した後、第 2 開始条件が成立したことに基づいて遊技者に所定の利益を付与する利益付与状態に制御するか否かを判定する第 2 利益付与判定手段と、

前記第 1 利益付与判定手段による判定がなされたことに基づいて複数種類の図柄情報を変動表示して所定の表示結果を導出表示する第 1 表示手段と、

前記第 2 利益付与判定手段による判定がなされたことに基づいて複数種類の図柄情報を変動表示して所定の表示結果を導出表示する第 2 表示手段と、

前記遊技領域に設けられ、遊技球を受け入れ可能な開放状態と遊技球を受け入れ困難な閉塞状態とに変化可能な大入賞口開閉手段と、を備え、

前記第 1 利益付与判定手段により前記利益付与状態に制御すると判定されたことに基づいて前記第 1 表示手段に特定表示結果を導出表示し、前記第 2 利益付与判定手段により前記利益付与状態に制御すると判定されたことに基づいて前記第 2 表示手段に特定表示結果を導出表示し、前記大入賞口開閉手段を前記開放状態に変化させて前記利益付与状態に制御する遊技機であって、

前記第 1 利益付与判定手段によって前記利益付与状態に制御すると判定されたとき、前記付与される利益が異なる第 1 群の利益付与状態のうちいずれかの利益付与状態に決定する第 1 利益価値決定手段と、

前記第 2 利益付与判定手段によって前記利益付与状態に制御すると判定されたとき、前記第 1 群の利益付与状態よりも遊技者に付与される利益価値が高い第 2 群の利益付与状態のうちいずれかの利益付与状態に決定する第 2 利益価値決定手段と、

前記第 2 始動入賞口への遊技球の入球を容易にする第 1 状態と前記第 2 始動入賞口への遊技球の入球を困難にする第 2 状態とに変化可能な可動部材と、

所定条件が成立したことに基づいて前記可動部材を前記第 1 状態に変化させるか否かを判定する可動判定手段と、

該可動判定手段によって前記可動部材を前記第 1 状態に変化させると判定されたことに基づいて前記可動部材を所定期間に亘って前記第 1 状態に変化させた後に前記第 2 状態に変化させる可動制御手段と、

前記第 1 始動入賞口に入球した遊技球のうち未だ前記第 1 開始条件が成立していない第 1 保留数を、予め決められた上限数まで記憶する第 1 保留数記憶手段と、

前記第 2 始動入賞口に入球した遊技球のうち未だ前記第 2 開始条件が成立していない第 2 保留数を、予め決められた上限数まで記憶する第 2 保留数記憶手段と、

前記第 1 保留数記憶手段に記憶されている第 1 保留数及び前記第 2 保留数記憶手段に記憶されている第 2 保留数に基づいて保留数表示手段を制御する保留数表示制御手段と、

前記第 2 保留数記憶手段に前記第 2 保留数を記憶しているときには、その旨を通知する通知手段と、を備えることを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

前記保留数表示手段は、複数の表示部を有し、

前記保留数表示制御手段は、前記第 1 始動入賞口若しくは前記第 2 始動入賞口への遊技球の入球の発生順序に対応して前記複数の表示部を所定の順序で特定可能に表示制御し、前記複数の表示部のうち特定可能に表示させる表示部の増減によって前記第 1 保留数と前記第 2 保留数とを合算した全保留数を特定可能とするバロメータ表示し、

前記通知手段は、

前記複数の表示部のうち前記第 1 始動入賞口への遊技球の入球に基づく第 1 保留数に対応する表示部を通常保留態様で表示し、

前記複数の表示部のうち前記第 2 始動入賞口への遊技球の入球に基づく第 2 保留数に対応する表示部を特別保留態様で表示することを特徴とする請求項 1 記載の遊技機。

【請求項 3】

前記保留数表示手段は、前記全保留数の上限数よりも少ない第 1 個数の表示部を有し、

前記保留数表示制御手段は、前記全保留数が前記第 1 個数以上であるとき、前記保留数表示手段の前記第 1 個数に対応して表示制御される表示部に、前記全保留数を更新表示することによって前記全保留数を特定可能とするカウント表示し、

前記通知手段は、前記全保留数が前記第 1 個数以上であるとき、前記第 2 保留数記憶手段に前記第 1 個数以降の前記遊技球の入球の発生順序に基づく前記第 2 保留数が記憶されている場合には前記保留数表示制御手段により前記保留数表示手段の前記第 1 個数に対応して表示制御される表示部を前記特別保留態様で表示し、前記第 2 保留数記憶手段に前記第 1 個数以降の前記遊技球の入球の発生順序に基づく前記第 2 保留数が記憶されていない場合には前記保留数表示制御手段により前記保留数表示手段の前記第 1 個数に対応して表示制御される表示部を前記通常保留態様で表示することを特徴とする請求項 2 記載の遊技機。